



～ 圓 塾 2013 年 の 歩 み ～



コープカルチャー大阪北さんでの講座も、今年でかれこれ七年目になります。大河シリーズでは新島田邸と八重桜を巡り、職人巡りでは様々な工房にお邪魔。洛陽観音巡礼は二巡開催。ウオーキング&フットケアの講座も開講させていただく運びとなりました。また、新たにコープ西宮さん、コープ塚口さんからもご依頼があり、定期散策講座を開講。新年もコープカルチャーから「中山観音」「祭シリーズ」など、圓塾ならではの濃い講座をお届けします！詳しくは圓塾まで。



二〇一三年後半の圓塾は、圓塾祇園祭でスタート。「京都ね歩りは歩り」では修復中の宇治平等院へ（「蘇る鳳凰堂」）。そして「京都御苑エコロジー」では、秋の御苑の自然と文化を味わいに行きました。それぞれの文化遺産の由縁を、裏やら奥からネホリハホリと深くご解説。お楽しみいただけましたか？年明けは東寺、そして三月は奈氏をネホリハホリします！どうぞお楽しみに♪



むかご飯



九月の末、山間を走っていると老夫婦と思しき方が虫網を持って、山の斜面を何やらがさごそと動いている姿が目に入りました。車を止めてよく見ると、自然薯に付いたむかごを採取されているようでした。

小山田「夫妻、いつも楽しく盛り上げて頂き、ありがたうございます！写真：「巨樹を求めて」鞍馬山にて

閑話休題

運転しながら、採取は虫網に始まり虫網で終わるのかとふと思いつつ、「終わりの始め」に思いを巡らすことでした。釣りは、フナに始まりフナで終わる。音楽は、室内楽に始まり室内楽で終わる、とか。園児が最初に育てるのはアサガオの鉢植え、やがて菊作りを極める者もいよう、そして晩年難しいアサガオの鉢植えに挑む。アサガオに始まりアサガオで終わるとも言えるのでは。私が初めてバイクに乗ったのはホンダのカブ。スクーター、大型バイクと乗り継ぎ、カブで終われたらいいなあと思いつつ、ドライブでした。

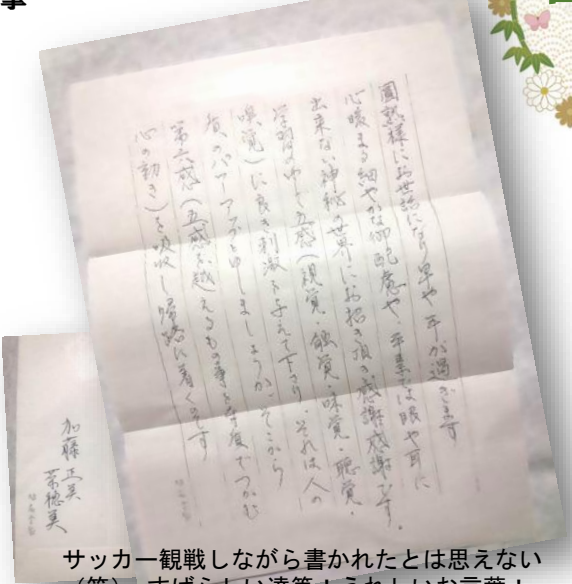
二〇一三年一〇月八日 池田市 小山田 浩 七十一歳



圓塾様にお世話になり早や年が過ぎます。心暖まる細やかな配慮や、平素では眼や耳に出来ない神秘の世界にお招き頂き、感謝感謝です。学習の中で五感（視覚・触覚・味覚・聴覚・嗅覚）に良い刺激を与えて下さり、それは人の質のパワーアップと申しましようか、そこから第六感（五感を越える、もの事を本質でつかむ心の動き）を吸収し、帰路に着くのです。この様な素敵な企画は他のセミナーにあるでしょうか？

お陰様でBS歴史館、歴史秘話ヒストリア等が1層、楽しく鑑賞する事が出来ます。半日という短時間の中で、私共老者に合わせた歩調とアットホームな空間を本当に有難うございます。今後の圓塾様の栄光を祈りつつ

加藤 正美・菜穂美 台筆



サッカー観戦しながら書かれたとは思えない（笑）、すばらしい達筆！うれしいお言葉！加藤さん、いつもありがとうございます！

和く話く対談 第一弾

平成二十四～二十五年、四回に分けて、洛陽三十三所観音徒歩巡礼の講座を、圓塾企画、コープカルチャー大阪北主催で、二巡開催。満願成就された方は約十名。京都市内のメジヤ一寺院からマイナー寺院を、一ヶ寺一ヶ寺般若心経を唱えて丁寧な参りながら、特別拝観やサブライズのお計らいを受け、寺から寺を徒歩で移動。御仏に触れる安らぎと、面白さが混在した非日常感に、皆さんご満足頂けたようです。この講座の立役者は何と云っても先達役を担ってくださった椿寺地蔵院の伊藤史郎住職。今回あらためて、様々なお話を伺いに行つて参りました。

―そもそも洛陽観音巡礼とは？
平安末期の頃に後白河法皇がコンパクトに観音巡礼できるようにと定められたものです。以降、途絶えたり、復興したりを繰り返して、約十年前、色んな因縁や要素が合致して三十三の寺院に声を掛けて回ったのが、平成の復興の始まりです。清水寺のような超有名な寺院と町のお寺がごちゃ混ぜになっているところ、そして歩いて回れるということ。それが洛陽観音巡礼の醍醐味!!セールスポイントです。新鮮な感覚で京都を楽しめますよ。

―修復について
当初はこれ以上傷まないようにという考えだけでした。しかし数ヶ所の修復を通して、修復の目的をあらためて考えさせてもらったこと、そして、私の考えを言わせてもらったことが大変良かったです。世の中には「これは〇〇素材の〇〇でっせ」と専門家として説かれる業者さんもあります。それはそれでよいのですが、コミュニケーションをたっぷりとることが、信頼関係を築く上で肝要という気がしましたね。直す側と依頼側が、何をどう直すのか？合致していないと良くないですからね。

―これからのお寺について思うことは？
伊藤住職は、百貨店という「いらっしやいませ」の世界で二〇年勤務してこられた珍しい経歴の持ち主。お坊様としていかがですか？
お坊さんとしては下積み時代がなく、いきなり住職になったでしょ。やっぱり知らないことが多い、引け目がある。も知ってるよ、というのがありますね。

―最後に、円塾とはどのようなイメージですか？
経験するための時間的質と量の合計。それゆえに年をとってこそ到達できること。単品ではなく、総合的に穏やかで知識豊富なことではないでしょうか。（例えば、若い学芸員さんや一つのことに打ち込んでこられた職人さんを円塾とは言い難い。X軸が時間、Y軸が経験、多角的に深みと厚みが備わって丸くなるイメージ。そのためには時間があるし、逆に言うとも長く生きていないと入れない領域では？

―伊藤住職、ありがとうございます！
椿寺の椿は一本の木から五色の花が咲き、椿特有のポトンとはなく、花びらがほだけて散る「五色八重散椿」。花期は三月中旬頃、四月中旬頃。四月上旬に咲く枝垂桜の頃は、椿と桜が境内を見事に彩ります。また椿寺は、昨年から「通称寺の会」事務局に。愛称で呼ばれる親しみのある寺ばかりが、宗派を超えて結成されています。円塾歩きの一テーマにお勧め！詳しくは圓塾まで。



椿寺の伊藤史郎住職と五色八重散椿

椿寺 地蔵院 北区一条通り西大路東入る大將軍川端町2市バス・京福電車「北野白梅町」下車徒歩約3分 洛陽観音巡礼 <http://www.takuyos3.jp>